

平成28年度 学校（園）評価報告書

深谷市立上柴西幼稚園

1 学校（園）評価のねらい（園としての受け止め）

- (1) 園の教育目標や教育方針、より一層創意と工夫のある指導内容・指導方法・教育環境の充実を目指し、より効果的な年間指導計画の策定のための工夫や改善に生かす。
- (2) 園の教育目標実現のための効果的な組織の在り方と運用方法、保護者との信頼関係の構築、地域や関係諸機関との協力体制の整備等の充実・向上に生かす。
- (3) 園児・保護者の状況や園の諸活動に関する、これまでの成果や課題等の情報を多面的に把握し、課題の改善や解決を目指した取り組みに生かす。
- (4) 園児理解・保護者理解、園児の健康管理・保健衛生・安全指導・安全管理・食に関する指導等の職員研修や実践の充実を図り職員の資質の向上に生かす。
- (5) 教育公務員としての職務と服務、使命感や責任感、公簿類の処理と管理、会計事務の厳正、各種情報の活用と管理、社会常識やマナー等の理解を深め、職員の実践力の向上に生かす。

2 評価の方法（自己評価・園関係者評価・第三者評価の別・回数・方法等）

(1) 自己評価（教職員アンケート）

- ・実施日 第1回 平成28年7月15日
第2回 平成29年3月1日
- ・実施方法 記名式 4段階評価
- ・結果報告 平成29年3月10日

(2) 関係者評価（保護者アンケート）

- ・実施日 第1回 平成28年7月13日
第2回 平成28年12月16日
- ・実施方法 無記名式 4段階評価 自由記述欄あり
- ・結果報告 平成29年3月16日

(3) 個人面談等（各種保護者相談、定期ほか適時）

- ・実施日 平成28年11月15日（火）～1月18日（金）
平成29年1月16日（月）～1月20日（金）
- ・実施方法 担任と保護者による二者面談（必要に応じて教務主任・園長が同席）
- ・実施場所 各教室等 1家庭＝15～20分

(4) その他（地域・公民館・小中学校・地域の各種団体・関係機関等）

- ・上柴地区3校1園の連携（あいさつカレンダーの作成・各家庭配布、言われてうれしい言葉の作成と3校1園での掲示、日々のあいさつ運動、防犯パトロール、幼小中の各種行事等の相互交流）
- ・上柴公民館の各種活動への参加
（七夕祭り、上柴祭り、公民館の訪問、敬老会の参加、家庭教育学級の参加等）
- ・毎月の上柴地区、自治会長会議での現状報告や情報交換、各種依頼等
- ・毎月の上柴地区、民生児童委員会での現状報告や情報交換、各種依頼等
- ・上柴公民館、幼稚園、小学校、中学校との情報交換会及び年間行事等調整会議
- ・地域選出の市議員との懇話、情報交換等（適時）
- ・上柴地区更生保護女性会との連携、協力等
- ・上柴地区青少年健全育成会との連携、協力等

- ・上柴地区の公共施設訪問「上柴交番、上柴公民館」
- ・深谷市サッカー協会役員による、園児へのサッカー指導（毎月1～2回）
- ・幼稚園の各種行事等へのボランティアの参加（読み聞かせ・影絵・劇等）

3 評価の結果

(1) 主な指標の変化

① 自己評価（教職員アンケート、4人）1回目と2回目の比較より

- ・1回目と2回目の評価項目を比較すると、評価4と評価3を合わせて100%が9項目、評価2は4から4ポイントへ、評価1は0から0ポイントへ、全体的に教育活動の努力が成果として大きく向上し安定的に活動が展開されている。
- ・多くの項目で教育活動の具体的な実践に対する職員の目的意識と日々の実践の展開に対する自信が感じられ、園児の成長を助け大きく伸ばしていることが認められる。
- ・アンケートの結果を参考に、職員の使命感や責任感、実践力の更なる向上につなげたい。

② 関係者評価（保護者アンケート）1回目と2回目の比較より

- ・「幼稚園の教育方針等が理解できる」は、98%から100%へ。
- ・子どもが「幼稚園へ行くのを楽しみ」は、95、9%から100%へ。
- ・「いっしょに遊べる友だちがいる」は、4歳児96、3%、5歳児100%
- ・「早寝早起き朝ご飯」は、97、9%から98、1%へ
- ・「よい習慣作り」は、共に100%
- ・項目によっては「あてはまらない」が若干あるが、このような保護者や園児の声に特に配慮し、細心の気配り目配りを欠かさず、更にきめ細かな支援を繰り返していきたい。
- ・自由記述では、保護者からの感謝の思いや良心的、肯定的な声を多くいただき、今後、職員一同、一層気持ちを新たに日々の活動に打ち込んでいきたい。

③ 個人面談等（各種保護者相談、定期ほか適時）

- ・園児のよりよい教育と成長には、保護者と教員が垣根を低くして話し合い、理解を深め合うことが重要だが、定期面談をはじめ必要に応じた面談や相談を適時、迅速に行い、保護者と教職員が共に前を向いて努力する姿勢を深めるために、全職員で、話しやすい、相談しやすい雰囲気づくりに努めている。
- ・保護者や園児の悩みや疑問、事件や問題などに、各職員が素早く丁寧に親切に応じることで、無用な誤解や行き違いを避け相互理解が深まり信頼関係醸成の一助となっている。
- ・必要に応じて、市教委、市教育研究所、市保健センター、市福祉課等の関係機関などの紹介や仲介、調整等を行い教育相談のより効果的な対応に心掛けている。

④ その他（地域・公民館・小中学校・関係機関等）

- ・幼稚園の教育活動や各種行事に積極的な協力や支援を仰ぐ体制を構築することができた。
- ・上柴地区の各種行事等に積極的に参加し地域の人々との交流の輪を広げることができた。
- ・保護者や園児、地域等の理解に必要な情報を得るための協力関係を築けた。

(2) 教育目標の具現化に向けた指標（指標との関連）

① 自己評価（教職員アンケート）

- ・職員の教育目標や教育方針への浸透もスムーズで、指導も具体的かつ自覚的に実践できていることが、2回のアンケートの比較にも表れている。それは職員の高い意識と実践に裏付けられた諸活動が年間を通して持続されているからだと考える。
- ・職員の目的的、意欲的かつ計画的な実践により、4月当初から比べ園児の確かな伸びや成長が保護者にも実感されていることで、職員の意欲の一層の向上につながっている。
- ・子どもを具体的によりよい方向に変容、成長させる実感を通して、幼稚園教育の教育者としての自信や誇りが一層確かなものになったと考える。
- ・全職員が日々同じ目標に向かい、協力や協働を繰り返す中で、お互いに理解を深めること

ができ、所属感や連帯感を一層高めることができたものとする。

・全職員が園児や保護者との様々な関わりを通して、幼児教育の楽しさや喜びを直接的に感得できたものとする。

② 関係者評価（保護者アンケート）

・保護者にとって「子どもが毎日楽しく幼稚園に行けること」が何よりの関心事である。

1回目が95、9%、2回目が100%であったが、当てはまらないとの回答が4、1%あったので当該園児へきめ細かな支援を行いたい。

・「先生や友達に思いを言える」の項目で「当てはまらない」が、1回目で10、2%、2回目で15、1%回答している。これは様々な発達上の課題や家庭環境も考慮しつつ、保護者と緊密な連絡を取り合い、状況によっては関係機関とも連携し継続的に対応していきたい。

・円滑で効果的な教育の推進には、何よりも保護者と職員、関係者とのコミュニケーションを丁寧に継続し、かつ素早く行うことの重要性があらためて認識できた。

③ 個人面談等（各種保護者相談、定期ほか適時）

・保護者と心を開いて誠実に話し合い、園児のより望ましい支援の手立てを共に悩み考えることで、保護者自身の自己理解を深めると同時に、担任との信頼関係の構築にも役だった。

・孤独な子育てに迫られている親が多く、小さな悩みや不安、疑問などにも丁寧に同じ目線で、同じ方向で、同じ土俵で考えることが重要であり、職員がその辺を心得え、共通理解をまめに行い互いに了知したうえで対応した効果は大きかった。

④ その他（地域・公民館・小中学校・関係機関等）

・幼稚園の教育活動や各種行事等に、積極的な協力や支援をいただくことで、園児の教育効果を一層増大することができた。

・園児が上柴地区の各種行事等に積極的に参加することで、地域の人々との交流の輪が広がり、幼児から大人老人までの多層世代のつながりを構築する一端を担うことができた。

・保護者や園児等の理解に必要な情報を得ることで教育の円滑な推進に大きく役だった。

(3) 学校研究課題の具現化に向けた指標

「遊びや生活のなかで、自分の思いを伝えあい、意欲的に活動する幼児の育成」

副題（明るいまいさつ、心も体も元気な上柴の子）のもと、前年度の年間指導計画をさらに工夫・改善し年間指導計画を策定した。その際、子どもの発達や興味関心・季節感や家族の思いを大切に活動や行事を意図的に組むことで、教育目標の具現化に一層効果的な実践が展開できた。また「3つのめばえ」の取り組みも保護者・園児に浸透してきた成果ともいえる。

全体的な効果や成果は、職員アンケートや保護者アンケートの指標の変化や向上にも表れており、保護者の声からも推し量ることができる。（具体的には添付資料を参照）

4 次年度に向けての展望

(1) 成果と課題を踏まえて4歳・5歳の園児にとって望ましい教育活動の一層の充実を図る。

(2) 年間指導計画と具体の教育活動のあり方を不断に見直し工夫し更なる充実を目指す。

(3) 保護者の意見や考えを的確に把握し、共に協力し合うことの大切さへの理解を深め、保護者・職員・関係者の共通理解と協働により、よりよい教育活動を推進したい。

(4) 上柴地区の3校1園の連携を更に深め、併せて公民館・自治会・民生児童員・各種団体・各関係機関等との協力・連携を一層充実したい。